科目名	サウンド基礎								2025
英語科目名									前期
学科・学年	音響芸術科 1年次 必	/選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	倉本淳二		教員の実務経験 有		実務経験の職種		レコーラ エンシ		

【科目の目的】

音響の基礎においてシグナルパス(信号経路)は大変重要であり、常に意識することが重要である。 先ず、音がどのように伝わるのか、そしてどのように流れるのか。 体系的に音声信号の取り扱いについて学習し、主回線と、そこから分岐していく様々なルート、 さらに挿入されるプロセッサーなどについて理解することを目的とする。

【科目の概要】

音を扱うということ、様々な音声信号とそのプロセス、それらの記録についての予備知識を学習する。 それらは作品として他の人に伝えることを目的とするもので、どう聴こえるのか、どんな感じがするなど、 主観的な効果を得るための具体的な作業についても学習する。

【到達目標】

- A:音と音声信号を物理的に理解できる
- B:信号経路を正確に理解できる
- C:音響機器の使用目的や働きを理解する
- D:音響機器の基本的構造を理解する
- E: 人間の聴覚に関する心理的影響を理解する

【授業の注意点】

この授業では、音を扱うプロとしてノイズと捉えられる授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。 公共交通機関の影響によるやむを得ない理由をのぞき遅刻や欠席は認めない。 授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。

評価基準=ルーブリック								
ルーブリック	ーブリック レベル5		レベル3	レベル2	レベル 1			
評価	優れている	よい	ふつう	あと少し	要努力			
到達目標 A	音の伝播の様子と、音声 信号を物理的に完全に理 解できる。	音の伝播の様子と、音声 信号を物理的に一定程度 理解できる。	音の伝播は理解できるが、電気信号としての音声の理解は完全ではない。	音の伝播と音声信号について、少しだけ理解できる。	音の伝播の様子と、音声 信号の伝わりが全く理解 できない。			
到達目標 B	学習したスタジオシステム内の、全ての信号経路を正確に把握し、必要に応じてアサインできる。	学習したスタジオシステ ム内の、全ての信号経路 を理解できる、	学習したスタジオシステム内の、主回線と補助回線をたどることができる。	学習したスタジオシステ ム内の、主回線をたどる ことができる。	信号経路をたどることが できない。			
到達目標 C	学習した音響機器の、使 用目的や働きを完全に理 解できる。		学習した音響機器の、使 用方法が理解できる。	学習した音響機器の、使 用方法が一部理解でき る。	音響機器が理解できな い。			
到達目標 D	学習した音響機器の、基本的構造や各部名称を全 て理解できる。		学習した音響機器の、基 本的構造が理解できる。	学習した音響機器の、構 造が一部わかる。	音響機器が理解できな い。			
到達目標 E	学習した、人間の聴覚に 関する心理的影響を全て 理解できる。	学習した、人間の聴覚に 関する心理的影響をほぼ 理解できる。	学習した、人間の聴覚に 関する心理的影響を一定 程度理解できる。	学習した、人間の聴覚に 関する心理的影響を少し だけ理解できる。	人間の聴覚に関する心理 的影響が全く理解できな い。			

【教科書】

参考書・参考資料等は、授業中に指示する。

【参考資料】

【成績の評価方法・評価基準】

	科目名	演習のいずれかを記入 		ド其礎	£ '	2025
	英語表記	サウンド基礎 年度				
	央			子期		期
回数	授業テーマ	各授業の目的 授業内容 到達目標=修得するスキル		到達目標=修得するスキル	評価方法	己評
			音の伝わり方	音が振動として伝わることを理解する		
1	音について	音とは何か?音を取り扱 うことについて知る	音の三要素 音を構成している要素を理解する			
			音速と波長	音の速さと回折について理解する		
	スタジオシステム		シグナルパス	信号経路をたどれる		
2		コンソールと周辺機器の 関係を理解する	DAW	DAWシステムの構成を理解する		
		対所で生計する	音源について	インターナルとエクスターナルを理解する		
			チャンネルインプット	チャンネルセクションの役割を理解する		
3	マルチトラック ルーティング	目的に応じた信号の流れ を理解する	モニター	モニターセクションの役割を理解する		
	ルーティング	c-生/汗 プイン	バスアサイン	Mixバスとマルチトラックバスのルーティングを理解する		
	マイクロフォン	主なマイクの仕組みとそ の違いによる分類	ダイナミックマイク	ダイナミックマイクの構造と信号出力方式を理解する		T
4			コンデンサーマイク	コンデンサーマイクの構造と信号出力方式を理解する		
			分類	マイクの種類を分類できる		
		フノクのお白州トスの原	指向性の種類	主な指向性の感度について理解する		T
5	マイクロフォン	マイクの指向性とその原理、それぞれの特徴を知	指向性の原理	主な指向性の仕組みを理解する		
	_	ි				
	マイクロフォン	いろいろな種類のマイクについて知る	その他のマイク	様々なタイプのマイクを覚える		
6			特徴	様々なマイクの特徴を理解する		
	3					
7	スピーカー1	ダイナミックスピーカー の構成要素や各部分の働 きを理解する	ユニット	スピーカーユニットの各部名称がわかる		T
			エンクロージャー	エンクロージャーについて理解する		
			ユニット構成	ユニット構成の名前を覚える		
	3 スピーカー2 様々なスピーカーの種類 を知る		ユニットの種類	主なスピーカーユニットの種類を覚える		
8			マルチウェイスピーカー	各部ユニット名称とネットワークについて理解する		
	ケーブル接続	様々なケーブルについて 知る	バランス/アンバランス	パランス/アンパランス接続について理解する		+
9 4			プラグ	主なプラグがわかる		
			インタフェースケーブル	主なインタフェースケーブルがわかる		
			音声信号	音声信号の伝送について理解する		
10	D. I.	D. I. の役割を理解する	インピーダンス	インピーダンスマッチングがわかる		
			D. I.	D.I.の役割を理解する		
		人の音の聞こえ方につい て知る	ラウドネス	等ラウドネス曲線の意味するところが分かる		
11	聴覚の特性		聴覚効果	主な聴覚の効果を覚える		
		ミキサーやパッチベイに おける直列・並列の使い 分けや信号の流れについ て理解する	ミキサー	直列・並列でミキサーと外部機器の信号の流れの違いがわかる		
12	直列と並列		利点	それぞれの利点が理解できる		
			パッチ盤	パッチ盤の直列並列接続とそれらの名称がわかる		
		デジタルオーディオの基礎を理解する	符号化	符号化するとはどういうことかわかる		
13	デジタルオー ディオ1		PCM	PCMの仕組みを理解する		
			1	エレンスルインプットの孫怒し様ちか』 ニュンギナ神和ナフ	\perp	\perp
1.4	ミキサーについ	ミキサーの様々な機能に	ルーティング	チャンネルインプットの種類と様々なルーティングを理解する	_	
14	7	ついて知る	У <u>П</u>	主なソロモードがわかる	_	
	-		ミキサーの使い方	インラインとスプリットがわかる	-	+
	 MIDIイベント道	イベント導 ノートと音源の関係を理	ノートイベント	基本的なノートイベントを覚える	_	
	入	解する	MIDI信号	MIDI信号と音源の関係がわかる		

-								
評価方法: 1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他								
自己評価:S:とてもよくできた、A:よくできた、B:できた、C:少しできなかった、D:まったくできなかった								
備考 等								